

議会モニターとの意見交換会（令和4年3月28日）会議要旨

日 程

- 1 開会（10：00～）
- 2 議長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 協議事項

【議員（進行）】 今回、4つのテーマを設けている。テーマごとに2名から3名のモニターの方に発言をいただき、その後に議員から発言するという形で意見交換を進めたいと思っている。多くの方から発言をいただきたいので発言は2分から3分程度でお願いします。発言される方は挙手をお願いします。今回、4つのテーマの中で、最初の3つのテーマについては養父市議会の運営等について発言をいただければと思う。市全般の政策であるとか、市の事業に関することは、4番目のその他のところで発言いただきたいと思う。それでは初めに、本会議等の会議や議会運営に関する意見ということで発言いただきたい。

【モニターA】 議会は予算を認めているが、実際責任を取っていない。それから議会の透明性、議会や委員会にもCATVでの議会報告会などの放送を意見しているが、これも全然前向きに進んでいない。最近の流行でSDGsの発言が多く見受けられる。また、女性の貧困ということをよく言われる。生理用品が買えないとか言われるが、実際キャリア携帯とかブランド品のバッグ等を持っている女性がいる。女性の管理職を認めるとよく言われる方がいるが、女性の現場職人の参加をなぜ言わないのか。私は過去、左官をしていたが女性はいない。いわゆる3Kである。きつい、汚い、危険、命にかかわる問題である。落ちれば死んだりすることもあり、非常に危険である。ここに女性を参画させない。そうすべき。本当に女性のことを思ってくれと（感じる）。子供の貧困でもいえるが、子供がブランドの服等を着ている。これが本当に貧困なのか。子供は社会が育てると言われるが、これは保護者が育てるもので、社会が育てるものではない。本当の貧困とは生活保護者と住民税非課税世帯、そのことを誰も言わない。それから15歳までの医療費は所得制限を設けるべき。それから高齢者、障がい者にもっとスポットをあてるべきである。

【議員A】 今、意見をいただいて、少し整理しなければいけないのかなと思う。議会がどうあるべきという問題と社会の課題の捉え方については、少し分けて考えなければいけないと思う。最初の予算の議決の責任を取っていないということについて、もう少し詳しく話していただけたらありがたい。

【モニターA】 仮に当局で問題が生じたときに、議会は当局を責め立てるが、議会は予算を認めた責任は十分にあるのではないか。双方に同等の責任があり、当局だけの責任だけではなく予算を認めた議員にも責任はないのか、ということである。

【議員（進行）】 議会運営全般について何かモニターの皆さんから発言いただければと思う。

【モニターB】 前回の議会を傍聴させていただいた。その時はタブレットを導入された後の議会だったと思う。ペーパーレスなどすごく良い取組をされていると思うが、実際に議員、当局の方が使われてみて、良い点があったとか、今後の発展性とかあれば教えていただきたいと思う。

【議員（進行）】 タブレットについては、以前から養父市議会でも取り入れていく方向性が決まっていて、令和3年度に導入した。12月、3月定例会については、ペーパーと併用したが来年度からはタブレットのみの活用に向けて進めていく方向である。目的としてペーパーレス化というのと、あと情報共有の即時性、またグループウェアを使用してのスケジュール管理とかである。今後、災害時等に参集できないときには、テレビ会議等にも使用したい。ただし、議会の中でも議論になっているが、やはりペーパーでないと審議できないことがある。そこについては慎重に、データも大事だが本当に必要なことについては、ペーパーでしっかりと審議するというのを考えている。今後については、議会運営委員会でも協議をしながら1年、2年かけて一番良い使い方を考えていきたい。まだ、少し試行錯誤の範囲ということでご理解いただければと思う。

【モニターB】 タブレットの活用はとても良いと思う。ただ、モニターがないので具体的に見えない。どのように見えているのかモニターがあれば良いと思う。

【議員（進行）】 それは議場にモニターがあればということか。

【モニターB】 討論されている場面しか見えないので、タブレット内容はわからない。その辺はどう考えられるか。

【議員（進行）】 タブレットの内容は、ホームページに公開されている議案、審議資料である。それ以外のものは、基本的にないが本会議の中で、それを放映するというのは難しいかなと思う。その資料に関しては、ホームページ等で取得できる。ただ、ホームページから紙に印刷し、持ってきていただくというのは大変なので、今後は本会議の中で行う可能性は大いにあると思う。

【モニターA】 以前、〇〇議員、〇〇議員にコロナの関係で開催されていない議会報告会等は、ケーブルテレビを活用して行えばと意見をしたが、却下されたのかわからないが、未だに動いていない。高齢者などは、ネットよりもテレビの方が良いと思うので、配慮すべきではないか。

【議員（進行）】 この件は、議会運営委員会でも議論していて、自宅のテレビで議会報告会ができなければ、ユーチューブなどの配信を使用して実施したらどうかという意見をいただいた。

【議員B】 テレビでの議会中継、ネットでも10日程度で配信しているので、観ることができる。ライブ中継をしているところもあるが、どのようにした良いのか。

【議員（進行）】 2年くらい議会報告会が行えていないので、議会報告会ができないのであれば、市長がされているように議員が、ユーチューブとかケーブルテレビを活用して議会報告会を行えばどうかという意見をいただいた。議会運営委員会の中でも協議したが、1つに議会報告会は双方向というのか、両方の意見を聴くことが最大の趣旨であって、議会からの一方的な報告だけ

ではすべてが賄いきれないのではないかという意見があった。報告だけではなく、意見交換会に重きをおこうということがあった。ただ、実現していないという事実はある。そういった趣旨も理解していただければと思っている。SNS、ホームページ、ユーチューブとかを積極的に活用している議会もある。そういった流れはあると思うので、今後議論したい。次のテーマの議会だよりとホームページ、ケーブルテレビの議会放映など、議会の広報、広聴活動に関する事で意見をいただきたい。定例会ごとに一般質問の通告書等は送付させていただき、自宅でも観ていただいている中で、意見があればお願いしたい。

【モニターC】 大変失礼な言い方かもしれないが、議員の発言時に「えー」とか「あー」とかが多すぎるので、何を言っているのかわからないことがよくある。このあたりも勉強していただいて、発言していただきたいと思う。また、質問事項の内容が本当にわかっているのか。当局に質問を投げて返答を期待しているというようなことが、ちよくちよくうかがえる。選挙前には市民目線になってとかよく言われているが、当選されたら本当に市民目線になっているのか。質問なんかを観ていても当局のいいなりになっているのではないか。委員会ではいろいろな質問、討論をされているかわからないが、本会議を観ている中では、一向にその気配がうかがえない。もう少し市民目線になって、いろいろな意見を訴えていただきたい。

【議員（進行）】 質問される方の理解が少し足りなくて、当局に内容を聞くだけの質問になったりだとか、中身自体が少し浅いのではないかと意見だろうと思う。

【議員A】 確かに言われているとおりの部分が多いが、毎回このことは指摘を受けている。議案の提案があった時の質疑は、自分に分からないことを質疑するということなので、そのことと一般質問における質問は分けて考えていただきたい。一般質問においては、確かに自分でしっかりと調査をして、どういう考えかということ自分でしっかりと持って質問しないと、しっかりとした質問にならないし、しっかりとした答えも返ってこない。それは言われるとおりで。議員全員が努力しているところである。

【議員（進行）】 私も本会で発言すると緊張することがある。なるべく準備はするが、その時の当局の答弁が思ったことと違うと、「えー」とか「あー」とか、うろたえてしまい反省するところである。

【モニターD】 何年前に養父地域局の2階でモニターの意見交換会を行った。その時に議員の定数、報酬のことを話し合った。確かあの時は、定数2減、そのかわり報酬に2人分の報酬を充てるということで落ち着いたと思っている。いろいろな市民の話を聴くと、人口が減ったのに議員数は減らないということをよく言われるが、減らすことだけが目的ではない。もっともっと市民に寄り添った形の提案をしていただき、市民が住みやすいまちと思えるような実感が得られれば、報酬が高い安いという議論ではないと思っている。先ほどから女性、障がい者、いろいろな問題で男女平等ということが基本で、国際的にも人の問題が言われているが、もし女性であっても障がい者であっても、それだけの発言ができて、考えがしっかりしているのであれば、

皆さんは自由に出ていただいていいわけで、現状女性は出てはいけないということはないと思っている。我こそはと思う方は出ていただいて、いろいろな意見をいただく。養父市も高齢者からみると、75歳になったら免許証を返しなさい。その返すことによって1人、2人暮らしの方からみれば薬をもらいに行ったり、病院に行く足がなくなってしまうということが、現実におきている。子育て、生活困窮者の問題まで含めて、特にコロナの問題がおきてから、ある意味で充実しているのかなど。ただ、養父市は日本一になる必要はないので、国の施策の中で、地方色を強めていっていただきたいと。それには老老介護の問題、現状としていろいろな市民の方と話をするが、まだ65歳を過ぎていれば年金をもらえる人が介護に当たれるが、自分が年金自給できない条件の中で、親を看ていかなければいけない。そのために田舎に帰ってくる。その人たちは高齢者が生きていうちはまだ良いが、亡くなるとその人自体の収入が途切れてしまう。このことについて市として養父色を濃くした補償的なものできないのか。行政の方にそのようなことをいうと、これがあります、あれがありますと言われるが、現実的にそれをもたらうに当たっては財産が有ったり資格がなかったりということで、大変な思いをされていると思っている。やがて親を看取ると、また親のように大きな家を預けられ、それを自分が支えていきながら生活していかなければいけない。大変な思いで生活されている方も最近すごく多い。ある女性の方は、都会の会社を辞めて母親を看るために養父市にきた。ところが自分も大病を患って障がいを持っている。だけど親が死に収入がなくなったのに、自分がその家を支えながら実は風呂に入れない。風呂の釜が壊れて修理するだけのお金がない。シャワーだけでも使わせていただきたいという障がい者の方もおられた。市役所に相談していただきたいと言うが、名義の財産が有るので、どこにも訴えることができない。行政の方に公民館に風呂があるのだから、週に何回かシャワーだけでも使えないのかという相談をするが、行政としては区のものだからというようなことで断られる。それから足の問題については、観光協会の会長という立場で、いろいろな協議会に参加させていただいた。行政は箱物を造ることは得意だが、中身が全くない。マイカータクシーは、発足当時は役員で、今でも理事をしているが、年間で35万、36万円の収入のために予算を使う。かといって作られた方はバス会社、タクシー会社で自分たちの営業もその辺の境をひいて、宮垣で乗り換えをしなければ運行できないという状況。シルバー人材センターの理事長とも話していたが、シルバーでもドライバーをかかえている。コロナがありマイクロバスの送迎も止められてしまう。一定の固定経費をもって、その人たちを扶養することができなくなってしまう。一般の個人のバス会社には仕事が流れていく。運転管理者において白ナンバーのハイエースクラスの車を走らせるところがある。養父市でもそのようなことができないのか。そうすれば買い物であったり、病院であったり、薬を取りに行ったりするのも、免許証を返納しても心配はない。子育ても必要だが、養父市の現実はこの10年、15年は老老介護の問題。これをぜひ議題の中に挙げていただきたい。養父市に沿った政策をしていただきたい。

【議員C】 定数と報酬についてだが、議員の宿命的な問題と思っている。結局は議員が決めなければいけないが、市の財政のこととかいろいろ考えると協議はしているが、なかなか決めることができないのが実情である。

【議員D】 一期目の新人で、これまでの流れをよく知らない。また、議会運営委員会の中、あるいは議会の中での発言を代弁することができないので、全く個人の意見として発言させていただく。私の議員の活動の中で研究していきたいと思っている。老老介護の問題は、養父市の大きな問題と思う。どう解決するのか、どこにキーポイントがあるのか考えてきた中で、在宅介護をしっかりとやれるようなシステム。兵庫県が24時間365日在宅介護をするという制度を創っているが、これに養父市も乗っかっていただきたいということを議会の中では主張してきている。75歳を超すような年齢になると、いよいよ大きな課題になると思う。市長の答弁は、考えてみたいということを書いてくれているが、実際介護職の不足ということがあり、なかなか手が付けられない。介護士を養成する、資格をとるための予算が計上されたので、これを契機にこのようなことが進んでいけばありがたいと思う。交通のことだが、今回の一般質問で問題提起をした。やぶくるが、今どうしても路線バスが利用されないので、補助金も出ないような状態になってきている。多くの高齢者、免許証を返上した方々の交通をどのようにするのかを考えると、今ある制度の中では、やはり「やぶくる」を意味のある形で活用していくのかということになる。その辺でもサブスクリプションという住民が定額でお金を出しながら、やぶくるをやっていくような制度の提案もしたりして、この件については良い回答を得られてないが、そのような問題も追及していきたいと思っている。

【モニターA】 モニターが質問していることには、どの議員でも良いのでそれなりに回答していただきたい。知らんぷりしなくて。議員は市民の代表なのでお願いしたい。

【モニターE】 現在の養父市の財政を考える前提ではいかないが、あまりにも議員報酬が安すぎると思う。今の議員には当てはまらないと思うが、飯を食べるがために議員なろうという動機の人が出るのではないかと。どうして議員報酬を上げるというのは、若い人が自分の意思をかけて養父市のためにやってみようというような魅力のある議員報酬というのが必要ではないかと思う。ただ、今年収が500万円ほど。一般の会社からしてみたら係長クラスの金額である。やはり700万円、800万円ぐらいあれば、自分が飯を食えて人のことも考えられるのではないかと思う。議員報酬に対してあまりにも無関心すぎて、無責任すぎるのではないかと感じている。今日が28日で、職員の辞令が今日か明日には出るのだろうが、人事の専権事項は市長にあるのかもしれないが、養父市は発表するのがどうしてこれだけ遅いのか。私が関係するところの職員が浮足立っている。豊岡市にしても朝来市にしても20日過ぎには新聞発表されている。行政がスムーズに進むためにも議会の方から市長に言うべきと思う。

【モニターF】 私も議員報酬については安すぎると思う。議員は英語言葉、カタカナ言葉が多すぎる。本当に意味が分かっているのか、議員に聞きたい。

カタカナ言葉を言われる議員がいるが、実際に議員に会って聞いてみると詳しいことがわかっていない。そのような議員の報酬を上げるのは、あまり芳しくないと思う。議員報酬をもっと上げたらいいと思う反面、おかしいなと思う。

【モニターG】 私も2期、8年間議員を務めさせていただいた。この8年間何をしてきたのか反省の上で、モニターとして出させていただいている。議会の広報活動は、こんなものかと思っている。ただ、広聴活動については鈍いと思う。全国の議会でも永遠のテーマかなと思う。しかし、やっているところもある。ケーブルテレビを活用し何かしたらということがあったが、やってできないことはないと思う。しかし、担当する議会運営委員会の委員には荷が重い。委員長は頑張っているが、議会運営委員会でやっても無理。特別委員会を組織しなければいけないと思う。議会運営及び議会改革の検討について（答申）に調査年月日と書いてあり、年間8回ですか。こんなことで議会改革が進むはずがない。〇〇議員は2期、8年間議会改革のメンバーであった。年間10回ぐらいの調査では追いつかない。定例会の月は1回、閉会中は2回ぐらい開催して進めなければいけない。議会運営委員会は議会運営が大変な仕事である。それだけでも大変である。議会運営委員会が議会改革をやりかけたところがあるが、結局間に合わなくて特別委員会を組織したところがある。ここ1年間議会は、行政の圧力があるのかなと思っている。議会がしっかりしておれば、ケーブルテレビを活用することができるかもしれない。ただ、どのようにやるのか中身までを提案しないと行政もケーブルテレビも動かないと思うので、そういう研究もしていただきたい。今回、一般質問で感じたが、〇〇議員の発言がストップされた。事務局長の助言もあってストップされたのでしょけど、あれは関連質問で良いと思います。今は人により2ページも3ページも通告書を書くのは、みっともない。私も2ページくらいはやったことがあります。全てを通告するなど、そんなばかげたことがあるか。今市民と懇談の場は、これしかない。素晴らしい地方議会というのは、本会議中に議長が休憩時間を取って、傍聴席から何か意見はないかというような議会改革も行っている。非常に感動することであり、そういう他市町を勉強するというのではなくて、政務活動費をどこに使っているのか。本だけを購入している。

【モニターA】 報酬は減らすべきだと思う。今日、私たちモニターは無報酬で出席している。500万円が少ないですか。市内で働いている方で、500万円もらっている方がどこにいますか。おかしい。

— 暫時休憩 — 10 : 54

— 再開 — 11 : 04

【議員（進行）】 議員報酬について議員から発言はないか。

【議員E】 報酬と定数について西田議長から諮問が出ている。議員報酬は月310,000円となっている。合併後の報酬審議会から市長の40%程度が妥当でないかと、この金額が出された。他の複数の市も報酬審議会に諮って決めら

れている。ただ、養父市議会は議会基本条例に定数と報酬について、議会の役割、市民の意見などを聞いて決めることとなっており、議会が報酬を決めることができる。ただ議会が勝手にできない。私の意見として、市民の意見を聞いて総合的に決めることができるので、議会の意見を市民へ預けるような形の仕組みを使うことが良いのではないかと思う。あと2年で案を提示できると考えています。

【議員（進行）】 人事発表について遅いという意見があるが、準備もあり妥当かどうか確認の必要があると思っている。

【モニターE】 早いか遅いか現場に聞いてもらわないと。人権・協働課でも「自分が変わるかどうかわからない」と言っている。そのようなあいまいな状況で決めにくいことがある。重要課題のある課もある。準備期間として1週間から10日は必要である。議員も関心を持って市長に言って欲しい。

【議員（進行）】 次に、議長諮問についての意見を聞きたい。諮問の内容は、定数と報酬について、必要となる特別委員会の設置について、通年議会、災害時における議会対応についてなどである。

【モニターH】 議員報酬についてモニターの方が広谷で会議した時に、報酬を上げるべきとの話であった。そのかわり継続して議論して欲しいとのことであった。若い方や女性など新しい方が立候補するための環境づくりにも影響する、政務活動費等もよそと比べ少ない。東京のゼミに行っても赤字になる。市民もケーブルテレビで議会の勉強をしている。新しい斬新な意見、ベテランの意見も拝聴している。継続的に討議していただきたい。モニターの会議で話が出てても議会内部で継続審議されているのかわからない。

【議員（進行）】 前期の時も定数と報酬については議員と一緒に研修を行っていただき協議していただきました。その時の到達点を踏まえて次期に向けて議論していくということです。

【議員C】 若手や女性の議会参入については、市の人口の半分が女性である。持続可能な市の経済成長・社会保障制度を持続するためには女性と若手議員の活躍が必要。議会参入しやすい環境を整える意味で、議員の欠席にしても明確なものがなかった。育児、看護、介護、配偶者の出産補助などと例示し、女性議員の出産のときは産前産後の欠席期間を設けた。議員になるには立候補や選挙もあるが、少しでも門戸を広げていかなければならないと考えている。

【モニターG】 今期議員は女性1人と40代が2人で過渡期に来たと思う。市民に語り掛け市民の声を聴いていただきたい。

【モニターA】 議員の定年制を検討していただきたい。実力があれば男性でも女性でも関係ない。

【議員（進行）】 性別や世代構成はどのような形でも、基本条例で議員は性別や様々な年代の意見を聴取し反映させることになっている。

【モニターI】 空き家問題がある。20数年空き家になったままの家がある。壊しても固定資産税が高くなる。なんとかする条例を作りたい。

雪が降った時に車道は除雪があるが歩道は除雪がない。子どもたちが歩くのに危険である。事故があってからでは遅い。

- 【議員（進行）】 養父市は他市より空き家率が高い。来年度から地域と共同での空き家対策に対して支援がある。代執行の予算もついている。個人の持ち物なので行政が手出しできないが、市としては対策に力を入れる方針である。
- 【議員B】 行政は連絡先が分かっている場合は税金を取り、危険な所はロープを張ったりしている。私も区長や地元の人にお願ひし、区長さんが連絡をつけるなど対応している。
- 【モニターI】 たまに帰ってきて片付けでもしてくれればいいのですが、税金は払っている。放っておいてくれと言っている。
- 【議員A】 市内でも独居世帯が増えている、個人の持ち物である空き家については行政が手出ししにくい。対策を考えていかなければならないと考えており、議会も注視していく。
- 【モニターE】 迷惑な空き家については、行政代執行で潰してしまうことをしなければならぬ。
- 【議員（進行）】 行政代執行しても代金の回収が難しい。市の税金で賄うことになり難しいものがある。
- 【議員F】 区長をしているときに通学路を見てきた。諏訪町の側溝整備がようやくできたが、それまで10年かかった。まだ必要な整備が残っている。通学路を何とかしなければならぬと思っています。子どもたちと歩いて一緒に帰って要望を出したこともあった。通学路を何とかしなければならぬ。除雪に関しては予算委員会でも意見を付けた。今年は大雪で体制が取れていない。除雪機とかの補助にしても品物が無いというようなことも出ているようです。意見を言っていきたい。
- 【議員（進行）】 通学路については、PTAや地域の方にお世話になっているというところが現状である。
- 【モニターG】 空き家については空き家バンクがあり動いている。山間部から町に来られる方もおられる。他から来た方を迎え入れるやさしさも必要。借家やアパートもある。ここがいいと思って新築してくれた人や引っ越してきて来てくれた方もいる。迎え入れる工夫をしていただけたら変わってくる。
- 【議員（進行）】 空き家対策も移住促進を含めて考えていかなければならぬ。
- 【モニターJ】 コロナで活動が低調である。文化協会会員が高齢化している。若い人たちが文化祭とかの催事に活動できる場ができないかと思っている。若い人たちが入っていただけるようにしたい。
- 【議員（進行）】 文化会館もでき、専門職大学もできたが、高齢化もあり困難な面もあることは感じている。
- 【モニターE】 やぶぐらし課は、養父市は暮らしやすいと指摘しているが、近隣とくらべ公園が少ない。くつろぐ場がない。養父にあるが使わないときは門がしてある。あゆ公園があるが役に立たない。営業中はいいが、ゆっくり散歩できる場所がある。過疎債があるので使うべき、財政調整基金がたまっている。最終的には何を考えているのか考えて欲しい。6次化もよく言われるが、走りかけたら梯子を外される。原油高に困っている。市が何の形で

市民に貢献できるか議員も考えてほしい。過疎債の有効性を考えて、事業に目を向けて欲しい。

【議員C】 公園整備のアンケートでは不満が半数を超えている。過疎債が有効だと考えている。年度ごと財政調整基金が必要計画にも盛り込まなければならぬ。住民の要望なりを支援する仕組みが必要と考えている。

【モニターA】 合併してから18年経つが、一体感がない。いつでも旧町単位という。一体感を持つべき。

【議員B】 一体感が必要だが、生まれてから中学までは旧町単位で暮らすことになる。身近な守備範囲は旧町単位となり、旧町単位が必要なこともある。

【モニターC】 養父市は住みやすいと対外的に言っているが、以前から住んでいる我々からしたら、だんだん人が市外に出て行っている。人口が減っている。せめて市内に住んで欲しい。農業に企業が参入しているが市にメリットがあるのか。税にしても都市部にだけいいところがあるのではないかと、追及して欲しい。

大分県で軽自動車の救急車が導入された。養父市でも導入して欲しい。全但バスが鉢伏線の土日祝日の夕方便を無くす予定である。観光で考えると、バスで来たが帰りの便がないことになる。土・日・祭日夕方5時から5時30分の八鹿行きバス、それが無理なら関宮で村岡線からの便に接続するバスができないか。

【モニターG】 議員は憲法93条を頭に入れて欲しい。市長よりも議会が偉い。市長がすばらしいことを言っても、議会が否決すれば前に進まない。議会より偉いのは市民である。投票権を持っている。

政務活動費は無駄遣いがあり、大津の研修所に行って大講堂では勉強にならない。30人から50人の小会議室でやってもらわないと。

議会基本条例を蔑ろにしているのではないかと。基本条例の見直しは毎年しなければならないと思う。それができれば定数・報酬も語れるようになる。

【議員（進行）】 時間の関係もあり本日の意見交換会は以上で終わりとした。

5 閉会 【副議長】（～11：57）